

2019東海村成人の集い 平成の集大成～二十歳の組曲～



【実行委員からのメッセージ】

今年のテーマは「平成の集大成～二十歳の組曲～」です。

私たちは平成最後の成人式で新成人となります。“先輩方が築いてきた大切なものを引き継ぎながらも、それぞれの個性を生かして、これからの新しい時代を切り開いていこう”という思いを込めました。

二十歳の節目、お世話になった方々への感謝を胸に、心の込もった旅立ちにふさわしい成人式にできればと思っています。

【期日】1月12日(土)

【時間】午前10時～正午(午前9時受け付け)

【場所】東海文化センター

【問い合わせ】生涯学習課生涯学習担当(中央公民館内)
☎282-3329)



【左から】河野さん、川又さん

※実行委員は、川又可奈さん(実行委員長)、河野亜斗夢さん(実行委員副委員長)、土田蓮美さん、宮内優衣さん、橋本花恵さん、大西慧さんの6人です。

地球温暖化で感じること

ふるさと歴訪 ～自然を探して～

我が家の南側には、2階建てのアパートの陰になり、午前中ほんの数時間だけ太陽光線が差し込む50坪ほどの日陰の庭があります。野草好きな私は、そこに園芸店で購入したエビネ、フクジュソウ、ユキワリソウなど、さまざまな種類の山野草を植えて楽しんできましたが、この環境に適さない種類はほとんどが数年で消滅してしまいました。土に腐葉土などを混ぜ、土壌改良に取り組み、再挑戦をしましたが、何度繰り返しても同じ結果しか出ませんでした。半ば諦めかけていましたが、今年の春、その庭にカラタチバナ、センリョウなど、温暖な地でしか生育できないと思われていた植物が、植えもしないのに自然に生えています。

恐らく野鳥が種子を運んだのでしょうか、冬には赤い実を付け、大きく生長しているのには大変驚きました。10年前にセンリョウを園芸店で買求め、庭への移植を試みるも冬の寒さには耐えきれず、枯死させてしまった苦しい出があります。

さらに我が家の東側には日



【ヒガンバナにとまるナガサキアゲハ(雌)】

人間にとって地球温暖化は、自然災害やヒアリ、デング熱などの悪いイメージが先行し、厭世的になるかもしれません。もうちょっと前向きに捉え、強かに生き延びてきた動植物のようには、確実にやって来ると思われる地球温暖化という環境に、どう適応したらよいかを考えるべきではないでしょうか。

当たりの良い庭があり、ここ数年来、毎年のように花を求めて見慣れないチョウがやって来るようになりました。凶鑑を調べるとツマグロヒョウモン、ジャコウアゲハ、さらに驚いたのが、日本では南方でしか見ることができないと思われるナガサキアゲハも常連客のように頻りに現れています。聞くところによると、西日本にしか見られなかったクマゼミが次第に北上し、今では本県の県南地区で確認されているそうです。

地球温暖化という大きな流れに乗って動植物は確実な対応をし続けています。あと数十年後には、東海村の地でもおいしいミカンが食べられ、パイナップルさえも収穫できるようになるかもしれません。

前東海村の自然調査団

川上 仁司